

## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月24日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アオキスーパー

コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇佐美 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長

(氏名) 大谷 亮

TEL 0567-23-3500

四半期報告書提出予定日 平成23年1月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年11月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	65,421	△2.2	528	△59.3	593	△55.8	231	△67.9
22年2月期第3四半期	66,899	—	1,299	—	1,343	—	720	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	17.27	17.23
22年2月期第3四半期	54.08	53.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	23,526	14,743	62.6	1,100.09
22年2月期	23,272	14,723	63.3	1,104.82

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 14,738百万円 22年2月期 14,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年2月期	—	10.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,700	△1.9	820	△56.2	890	△54.1	380	△65.1	28.35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 14,000,000株 22年2月期 14,000,000株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 597,514株 22年2月期 673,201株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 13,386,625株 22年2月期3Q 13,316,202株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、世界経済の改善などにより、企業業績の改善が続いておりますが、景気は足踏み状態となっております。また、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費の低迷、円高やデフレの影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当流通業界におきましては、業種・業態を超えた値下げ等による店舗間競争がさらに激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況におきまして当社グループは、新設店として10月に名東よもぎ台店をオープンし、3月に高浜店・4月に朝宮店・5月に清城店・9月に乙川店をリニューアルオープンいたしました。また、8月に中村店を仮店舗にてオープンいたしました。

販売促進企画として、スクラッチお買物券プレゼント・中日劇場や御園座の観劇ご招待を実施いたしました。また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・月に一度の日曜朝市・週に一度の100円均一等の企画を継続実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期は、営業収益654億21百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益5億28百万円(前年同期比59.3%減)、経常利益5億93百万円(前年同期比55.8%減)、四半期純利益2億31百万円(前年同期比67.9%減)と減収減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 食料品等の販売を目的とした小売業部門

低価格販売の実施や、店舗の新設や改装を行い販売促進に努めましたが、物価下落や個人消費の低迷等により厳しい経営環境となり、営業収益は647億68百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は2億95百万円(前年同期比72.1%減)となりました。

#### ② 不動産賃貸部門

店舗の新設や改装等により、営業収益は6億53百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は2億33百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

(注)記載金額は、すべて消費税等を含まない金額としております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度に比べ、10百万円増加し、90億24百万円となりました。これは、主に繰延税金資産の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ、2億43百万円増加し、145億1百万円となりました。これは、主に店舗等の設備投資によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べ、2億53百万円増加し、235億26百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度に比べ、3億40百万円増加し、65億77百万円となりました。これは、主に仕入債務の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ、1億7百万円減少し、22億4百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べ、2億33百万円増加し、87億82百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度に比べ、20百万円増加し、147億43百万円となりました。

また、1株当たり純資産額は、前連結会計年度に比べ、4円73銭減少し、1,100円9銭となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度に比べ、0.7ポイント減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の四半期末残高は、73億99百万円（前年同期比0.6%減）となりました。これは主に、フリーキャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いたもの）が、1億25百万円の増加となったこと、及び、財務活動によるキャッシュ・フローが2億42百万円減少したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、12億26百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は6億13百万円の資金の増加）。これは、主に営業収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、11億1百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は8億12百万円の資金の減少）。これは、主に店舗等の設備投資によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、2億42百万円となりました（前年同四半期連結累計期間は4億70百万円の資金の減少）。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

引き続き厳しい状況が予想されますが、商品政策においては、鮮度・味・価格にこだわり、競合店対策としては、第2四半期より継続実施しております店舗・地域ごとのきめ細かな価格政策の取り組みにより、競合他社に負けない売場づくりに努めます。徹底したコスト削減や人材教育を通して経営体質の強化を図り、業績の向上を目指してまいります。

通期の業績見通しといたしましては、連結営業収益877億円（前年同期比1.9%減）、営業利益8億20百万円（前年同期比56.2%減）、経常利益8億90百万円（前年同期比54.1%減）、当期純利益3億80百万円（前年同期比65.1%減）の減収減益を見込んでおります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,399,969	7,517,136
売掛金	953	986
商品	1,127,579	1,141,794
貯蔵品	13,057	12,445
その他	483,307	342,302
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	9,024,807	9,014,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,119,676	6,993,919
土地	3,304,786	3,292,303
その他(純額)	829,671	667,685
有形固定資産合計	11,254,134	10,953,908
無形固定資産	316,062	325,668
投資その他の資産		
差入保証金	2,203,417	2,264,682
その他	774,867	760,385
貸倒引当金	△47,280	△46,910
投資その他の資産合計	2,931,004	2,978,158
固定資産合計	14,501,201	14,257,735
資産合計	23,526,008	23,272,341
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,953,489	4,615,996
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	11,013	165,300
賞与引当金	342,301	172,500
その他	1,221,020	1,233,248
流動負債合計	6,577,824	6,237,044
固定負債		
長期借入金	75,000	100,000
退職給付引当金	397,127	389,488
長期預り保証金	1,488,377	1,573,151
その他	243,759	248,946
固定負債合計	2,204,264	2,311,586
負債合計	8,782,088	8,548,630

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372,000	1,372,000
資本剰余金	1,604,090	1,604,090
利益剰余金	12,232,761	12,279,929
自己株式	△485,541	△546,857
株主資本合計	14,723,309	14,709,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,148	14,548
評価・換算差額等合計	15,148	14,548
新株予約権	5,462	—
純資産合計	14,743,920	14,723,711
負債純資産合計	23,526,008	23,272,341



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
売上高	64,766,199	63,346,374
売上原価	54,485,271	53,806,847
売上総利益	10,280,928	9,539,527
その他の営業収入	2,133,494	2,074,932
営業総利益	12,414,422	11,614,459
販売費及び一般管理費	11,115,273	11,085,730
営業利益	1,299,149	528,729
営業外収益		
受取利息	16,338	19,453
受取配当金	569	659
その他	36,326	50,451
営業外収益合計	53,234	70,564
営業外費用		
支払利息	3,813	2,981
収納差金	3,068	2,797
自己株式取得費用	1,724	—
その他	10	0
営業外費用合計	8,617	5,779
経常利益	1,343,766	593,514
特別利益		
固定資産売却益	1,637	0
長期未払金戻入額	—	3,990
特別利益合計	1,637	3,990
特別損失		
固定資産売却損	—	1,387
固定資産除却損	52,600	121,512
減損損失	—	60,524
その他	4,360	1,770
特別損失合計	56,960	185,193
税金等調整前四半期純利益	1,288,443	412,311
法人税、住民税及び事業税	606,172	290,419
法人税等調整額	△37,926	△109,229
法人税等合計	568,246	181,190
四半期純利益	720,197	231,121

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,288,443	412,311
減価償却費	651,982	646,158
減損損失	—	60,524
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,360	370
賞与引当金の増減額(△は減少)	159,394	169,801
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,075	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,326	7,639
受取利息及び受取配当金	△16,908	△20,112
支払利息	3,813	2,981
固定資産除却損	34,356	79,632
固定資産売却損益(△は益)	△1,637	1,386
売上債権の増減額(△は増加)	△196	32
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,954	13,603
未収入金の増減額(△は増加)	72,123	48,285
仕入債務の増減額(△は減少)	△177,536	337,493
未払金の増減額(△は減少)	△29,219	△2,764
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,557	△52,280
未払費用の増減額(△は減少)	12,198	58,252
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△3,990
その他	△17,861	△15,302
小計	1,910,399	1,744,024
利息及び配当金の受取額	7,907	11,553
利息の支払額	△2,006	△1,275
法人税等の支払額	△1,302,926	△527,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	613,372	1,226,831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△810,737	△1,104,207
有形固定資産の売却による収入	3,252	1,132
無形固定資産の取得による支出	△10,818	—
貸付けによる支出	△1,790	△3,705
貸付金の回収による収入	3,001	4,614
差入保証金の差入による支出	△30,280	△45,787
差入保証金の回収による収入	122,593	115,653
預り保証金の返還による支出	△102,018	△110,981
預り保証金の受入による収入	16,403	24,500
その他	△1,752	17,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△812,145	△1,101,094
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△25,000	△25,000
自己株式の取得による支出	△246,349	△3,676
自己株式の売却による収入	68,850	54,000
配当金の支払額	△267,557	△268,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470,057	△242,904
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△668,829	△117,167
現金及び現金同等物の期首残高	8,114,226	7,517,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,445,396	7,399,969

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)

	小売業 (千円)	不動産賃貸業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	66,228,255	671,438	66,899,694	—	66,899,694
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	67,064	67,064	(67,064)	—
計	66,228,255	738,502	66,966,758	(67,064)	66,899,694
営業利益	1,059,745	239,404	1,299,149	—	1,299,149

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要な内訳

- (1) 小売業……………食料品等の小売事業
- (2) 不動産賃貸業……店舗の運営、管理及び不動産賃貸業

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)

	小売業 (千円)	不動産賃貸業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	64,768,276	653,030	65,421,306	—	65,421,306
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	67,064	67,064	(67,064)	—
計	64,768,276	720,094	65,488,371	(67,064)	65,421,306
営業利益	295,725	233,003	528,729	—	528,729

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要な内訳

- (1) 小売業……………食料品等の小売事業
- (2) 不動産賃貸業……店舗の運営、管理及び不動産賃貸業

**【所在地別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)

当企業集団は国内に所在しているため、所在地別セグメント情報については、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)

当企業集団は国内に所在しているため、所在地別セグメント情報については、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)

海外売上高に該当する取引がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)

海外売上高に該当する取引がないため、該当事項はありません。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。